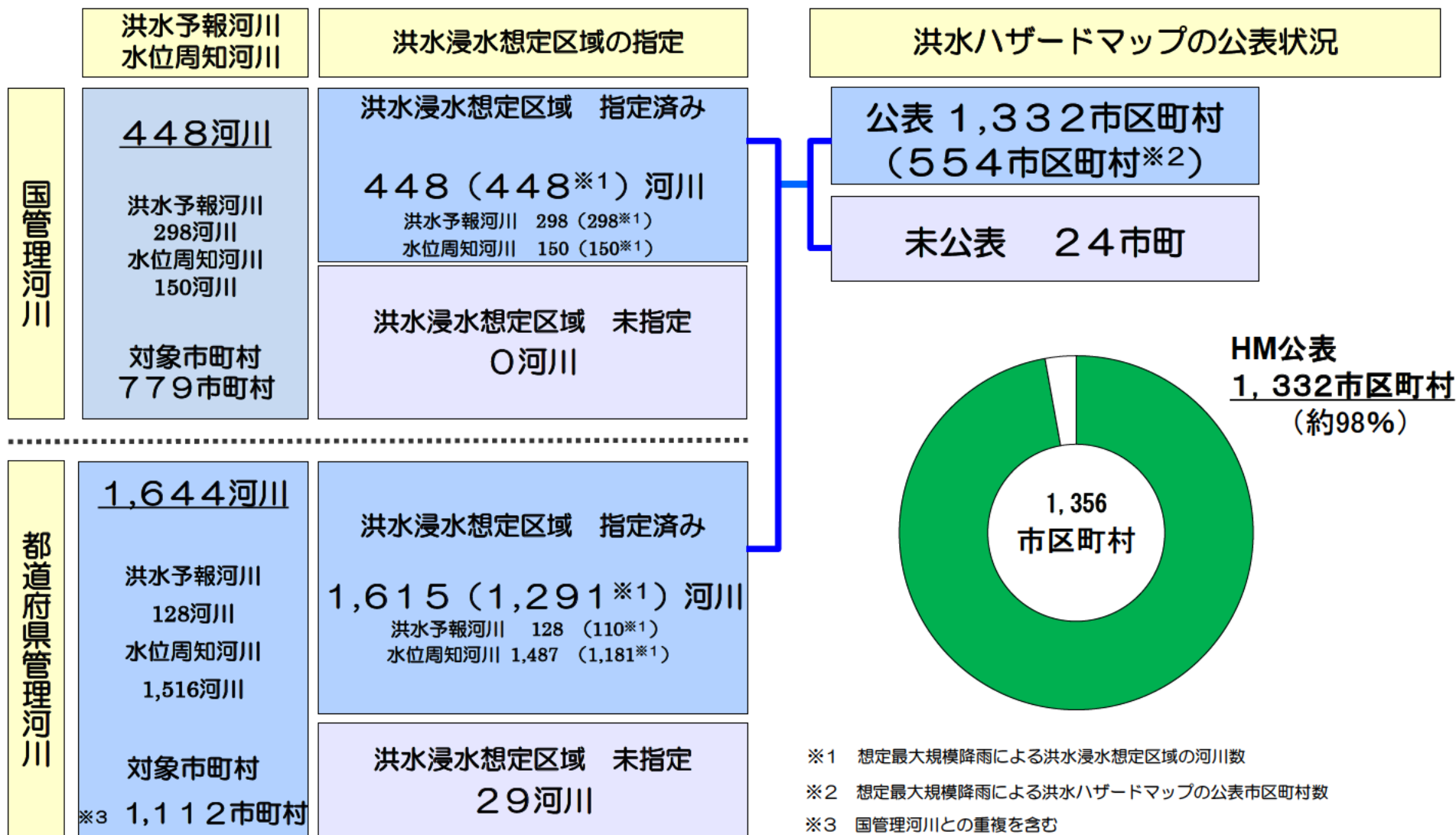


洪水浸水想定区域と洪水ハザードマップの指定・公表状況(R1.10末時点)



洪水予報河川・水位周知河川の指定状況(R1.10末時点)

(令和1年10月31日時点)

	洪水予報河川(※1)	水位周知河川(※2)
国管理 河川	109水系 298河川	63水系 150河川
都道府県 管理河川	65水系 128河川	675水系(※3) 1,516河川
合 計	426河川	1,666河川

国民経済上重大な損害又は相当な損害を生じるおそれのある河川のうち

(※1)洪水予報指定河川:水位等の予測が技術的に可能な流域面積が大きい河川

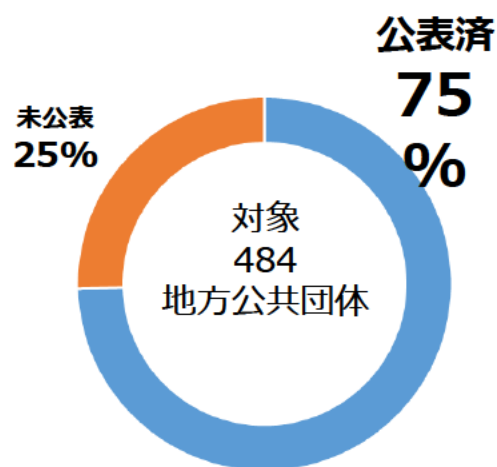
(※2)水位周知河川:洪水予報河川以外の河川のうち、流域面積が小さく、洪水予報を行う時間的余裕がない河川で、特別警戒水位(氾濫危険水位)を定めて、この水位に到達した旨の情報を出す河川

(※3)水位周知河川における補助河川の水系数は、各県ごとの水系数をそのまま合計している

内水ハザードマップの作成状況

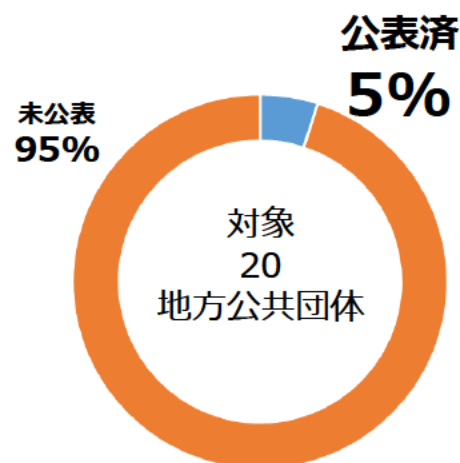
- 過去に甚大な浸水被害が発生するなど、内水ハザードマップの早期作成が必要な484地方公共団体のうち361地方公共団体が、既往最大規模降雨等による内水ハザードマップを公表済。
- 平成27年の水防法後、内水浸水により人命への影響が懸念される地下街を有する20地方公共団体のうち1地方公共団体が、想定最大規模降雨による内水ハザードマップを公表済。

既往最大規模降雨等による
内水ハザードマップ



公表済 361地方公共団体
(平成31年3月末現在)

想定最大規模降雨による
内水ハザードマップ



公表済 1地方公共団体
(平成31年3月末現在)

浸水継続時間

- 「浸水継続時間」は、想定最大規模降雨における洪水時等に避難が困難となる一定の浸水深（50cm）を上回る時間の目安として示すものであり、長時間（おおむね24時間以上）にわたり浸水するおそれのある場合に示す時間として、水防法施行規則第2条第3項に基づき規定されている。
- 浸水が長時間継続すると、上下水道、電気、ガス等のライフラインの機能が停止するおそれがあり、このような区域を考慮した上で、孤立者対策を含む避難計画の検討や排水活動等の応急活動の対応を行うことが望ましい。

浸水継続時間の表示例

